工大広報

2015年4月3日発行(年4回発行)

No.277

Spring 2015 2015年4月3日発行 (年4回発行)



建築学科 新井信幸研究室;集合住宅のリノベーションについて検討を重ねる



ご入学おめでとうございます

東北工業大学に入学された学生、大学院生の皆さん、おめでとうございます。

皆さんは、将来、社会を支える人として、東北はもちろんのこと、日本あるいは世界で 活躍することになります。今将来に向けて、その第一歩を歩みはじめました。人は自分 の関わる仕事によって、「工夫の喜び」「開発の喜び」「発見の喜び」、そして「創造の喜 び」と「人に仕える喜び」を得ることができます。

皆さんに期待されていることは人間の生活を豊かにし、人類福祉に貢献することで す。そのためには、人間に対する深い洞察力を身につけ、人とは何かを理解することが 必要です。心のこもった、人間性あふれる知識や技術を身につけた社会人になるため に、これから自分自身を鍛え、訓練し、成長されることを願います。

大学時代は知識を得ると同時に、ものの考え方や学び方を確実にする、とても大切 な時です。理解の深さ、スピードは人によって異なります。皆さん一人ひとりが本当に納 得するまで、あわてず、あせらず、あきらめず、忍耐強く勉学に励んでください。そして、 多くの人に接し、多くの友人を作り、東北工業大学での学生生活を、自分の一生のなか の、かけがいのない時だと誇りに思えるよう、有意義に過ごしてください。 皆さんの活躍を心からお祈りしています。



工学部長

明るく楽しく励みましょう!

渡邉 浩文 建築学科 教授



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、皆さ んの入学を心より歓迎します。

本学は東北地方屈指の伝統と実績を誇る大学です。卒業生は 各界の第一線で活躍されており、社会からの皆さんへの期待は 極めて高いものがあります。私たち教職員は、皆さんが社会にお いて十二分に活躍できるよう専門教育に努めます。従って皆さん も、本学の教育を信頼し、そして何よりも自分自身を信じて学修 に励んでいただきたいと思います。

もちろん大学は学修の場だけではありません。各地から集う同 窓生とのさまざまな交流や課外活動は、日々を豊かにしてくれま すし、卒業後も公私にわたって続くことでしょう。

工学部では特に高度専門学修となるため、それなりに厳しい取 り組みが必要になると思います。それでもそれに、明るく楽しく取 り組んでいただきたいと希望します。

ライフデザイン学部長

よく学びよく遊べをモットーに 充実した学生生活を



安全安心生活デザイン学科 教授



入学おめでとうございます。ライフデザイン学部の教職員一同、 皆さんの入学を心から歓迎いたします。

皆さんはこれまでの「生徒」から「学生」になりました。我々は 皆さんを「学生」として扱います。これは、皆さんを一人前の大人 として扱う、という意味です。互いに強い責任が発生します。これ をまず十分自覚してください。また、皆さんは入学すると同時に、 大きな自由時間を手に入れることになります。実は、大学は、授業 時間などよりはこの自由な時間の方が圧倒的に長いのです。皆さ んの大学生活が実りあるものになるかどうかは、授業も大切です が、この自由時間をどう使うかにかかっています。学ぶ時間も遊ぶ 時間もたっぷりあるので、自主と自律の精神が重要です。これも心 に留め置いてください。

学生時代は、長い人生において今だけのものです。この貴重な 時間を、「よく学びよく遊べ」をモットーに充実したものにして欲し いと、心から願っています。



知能化情報社会を支えるエレクトロニクス

まるやま つぎと **丸山 次人** 学科長・教授

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

私たちの身の周りの多くの製品は、コンピュータが組み込まれ知能化され、安全で快適な生活を提供しています。この知能化情報社会を支えているのがエレクトロニクス技術者であり、産業界からの人材需要は益々高まっております。

本学科では、電子工学を基盤として、実践的教育と個を尊重した教育・研究を 充実させております。新入生には、入学後学外オリエンテーションを行い、大学 生活の心構えと友だち作りの場を提供します。さらにセミナーや研修、演習や 実験を通じて実践的教育を行い、卒業時には卒業研修の成果を発表します。ま た個の尊重の下、3つの専門コースを用意し、一人ひとりの個性に合わせた教育 に努めております。充実した学生生活を送り、4年後、皆さんが社会から期待さ れる技術者として巣立つことを楽しみにしております。



新入生学外オリエ ンテーション



卒業研修発表会



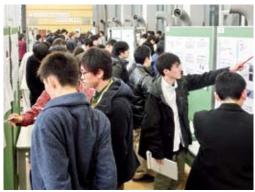
目標を定め有意義な学生生活を

tbらおか かずのぶ **村岡 一信** 学科長・教授

現代社会はコンピュータやインターネット、スマートフォンなどの情報機器・情報インフラに支えられた高度情報化社会であり、この社会を維持発展させるため、大勢の技術者が活躍しています。本学科の卒業生も中堅技術者として、あるいは組織の中核として重要な役割を担っています。

情報通信分野はコンピュータを中心とした情報技術、光通信や無線通信などの通信技術、ネットワークや組込みシステムなどの通信と情報が融合した技術などがあり、業種や職種も多様です。

本学科では1~2年で基礎を、3年から通信コースと情報コースに分かれて 専門を深く学び、4年では卒業研修を行って卒業論文とポスター発表会で成 果を公表します。自分の得意分野を最初の1~2年で見つけ、目標に向かって 有意義な学生生活を過ごしてください。皆さんの頑張りに期待します。



研修生ポスター発表会



建築学の世界にようこそ!

石井 敏 学科長·教授

建築学はとても大らかで、拡がりと深みのある学問です。皆さん一人ひとりを 惹きつける内容、個性が発揮できる分野が必ずあります。社会に出て、建築技 術者・設計者として通用するための知識や技術を、私たち建築学科教員が情熱 を持って皆さんに教え伝えます。その道は決して楽なものではありません。皆さ ん自身の努力も必要です。大学生活の4年間は自由で、豊かで、そして人間的に 成長できる時間です。貴重な時間を無駄にせず、全力で学んでください。

建築は人のための学問であり、人の暮らしを豊かにするための技術です。人に対して思いやりを持ち、多様な意見や価値観を共有する包容力、ローカルからグローバルまで見渡すことができる視野の広さが必要です。私たちは、皆さんの能力を伸ばし成長させる教育をします。多くの学びのチャンスも提供します。皆さんの成長を大いに期待しています!



年生最初のワークショップでのグループ作業(平成26年度)

卒業後に必要な力を日々の生活で鍛えよう

小出 英夫 学科長·教授

入学おめでとうございます。 大学生の授業態度について時々話題になりま す。授業態度と言っても高校までとは異なり、例えば各机のコンセントから携 帯への充電、黒板の撮影、飲物の摂取などです。禁止事項ではない場合、マ ナーとして「許す・許さない」の判断はその授業の教員自身が不快に感じるか 否かであり、その結果として学生が厳しく注意される場合もあります。皆さん は〇×を決めて欲しいと思うかもしれませんが、「社会」も同じです。日々気 持ちよく過ごすには、「どのような行為が他人を不快にする可能性があるの か」を冷静に考えることができる力が必要です。本学科の卒業生が関わるイ ンフラの計画・設計・施工管理、防災、まちづくりなどの仕事の際には、特に この力が重要となります。本学科の皆さんはこのことを常に意識して日々の 大学生活を送り、この力(能力)を鍛えて欲しいと思います。



震災復旧現場(名取川河口)にて担当者から説明を聞く



健全で持続可能な社会実現のリーダーに

裕一 宮本 学科長·教授

ご入学おめでとうございます。教職員・在学生一同、心から大歓迎いたしま す。皆さんはこれからの勉学や大学生活への期待に胸を大きく膨らませてお られることと思います。環境エネルギー学科は、現代社会の複雑な諸問題を 解決するために、環境保護、エネルギー利用、経済成長の調和を目指して教 育・研究を行う新しい文理融合の学科です。世界の状況は厳しさを増してお り、私たちの毎日の生活にも影響を与えています。このような時こそ自分を見 失うことなく、じっくりと着実に自身の価値を高めていく努力が大切です。学 科では、工学のみならず、さまざまな学問分野の知識や技術を養うことので きるカリキュラムを皆さんに提供します。環境・エネルギーに対して幅広い興 味・熱意を持ち、柔軟に考え、健全で持続可能な社会実現に向けてともに学 問をすすめましょう。



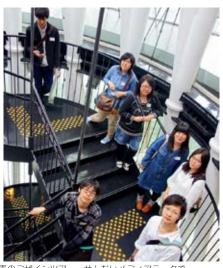
1年生学外研修での「千年希望の丘」(岩沼市下野郷) にて (本学科 平成26年入学 宮内怜撮影)



興味が出発点、学び続けることが真の力

両角 清隆 学科長·教授

クリエイティブデザイン学科では、生活を美しく豊かにするアイデアやそ れを実現するデザインプロセスを学びます。この過程を通して、社会に役立 つ製品やサービス、情報を生み出すことのできる幅広い分野で活躍する人材 を育成します。その学びは、1年は基礎的なデザイン教育や教養教育にはじま り、1年の最後にはプロダクトデザイン、ビジュアルデザイン、エクスペリエン スデザインの3つのコースから選択を行い、徐々に専門的な能力を高めてい きます。4年の最後には、じつくり制作・研究に取り組んだ成果をせんだいメ ディアテークで発表・展示します。この間、幅広い教養や高い専門の能力を 学び続けることで、驚くほど人間性豊かでクリエイティブな人間へと成長し ます。必要なのは「好奇心」と「継続性」です。皆さんも、学び続け、一緒に未 来を切り開いていきましょう。



春のデザインツアー せんだいメディアテークで

ライフデザイン学部

経営コミュニケーシ



多くの人に解ってもらいましょう

祐司 小道 学科長·教授

ご入学おめでとうございます。学科教職員一同、諸君とともに、新たな大学 生活を迎えることを楽しみにしております。

本学科では、より良い「生活の場」づくりを目指し、住まいのデザイン提案 をしたり、地域コミュニティ形成へのアドバイスを行ったり、心身の健康を保 つためのアドバイスを行うなど、学生諸君とともに実践的な取り組みを行っ ています。諸君も、悪戦苦闘しながら、さまざまな調査を行い、気付き、まと め、提案を行うことになります。

その際、人に良く理解してもらうことが大切なのです。自己満足は通用しま せん。いろいろなことに、自ら気付き、他の人に解ってもらうための知恵を大 いに身に付けてください。失敗を恐れず、奮闘されることを期待しています。



学外研修での集合写真(仙台市太白区 秋保工芸の里)





要介護者のための入浴施設見学 (体験授業 仙台市太白区 特養老 (仙台市宮城野区 榴岡公園) 人ホーム)

仙台の公園空間探索



自分に、社会に、問い続けよう

宮曽根 美香

学科長·教授

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

自分に潜んでいる可能性を探し、見つけて、深める4年間のはじまりです。 経営コミュニケーション学科は、組織と地域社会に貢献する人材の育成を目 指しています。経営学およびコミュニケーションの知識とスキルを柱にICT* 技術を加えて、学びを深めていきます。

組織や地域社会が抱えるさまざまな問題に対して大学での学びが活かさ れるために、大学ではたくさんの問いかけをして、その問いに一定の答えを探 してください。学科ではそのことを実現できるカリキュラムをそろえ、教員も それぞれの専門的立場から皆さんをサポートします。そして、責任ある社会 人、ビジネスパーソンであるために、卒業してからも問い続ける姿勢を持って ほしいと思います。

※ ICT; Information and Communication Technology 情報通信技術



2014年度チャレンジアブロードプログラムでのオーストラリアの 大学生との交流会



皆さんをいつも応援します

健太郎 梅田

共通教育センター長・教授

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活への期待にあふ れ、また少しの不安もあるかと思います。共通教育センターは、そんな皆さん をいつも応援します。

今、社会はいろいろな困難な問題を抱え、それらの問題を適切に解決し、活 力ある社会を持続していくことが要請されています。共通教育センターは、社 会で遭遇するさまざまな問題・課題に取り組むに当たって基盤となる素養を身 につけるための「教養教育科目」、そして、皆さんが入学された学科で学ぶ高度 な専門科目にスムーズに結びつくための「専門教育科目」を担当します。同セ ンターの「manabiなんでも相談室」では大学での日々の学習における疑問、質 問にいつでも対応します。いろいろなことを学び、多くの人と出会い、語り、豊 かな大学生活となるように何事にも積極果敢に取り組んでください。



___ センター開催「 TOEIC 課外セミナ

研究室で学んだこと

工学部

知能エレクトロニクス学科

丸山次人研究室



制御技術で世の中に役立つことを目指して

まるやま つぎと **丸山 次人** 教授

制御工学を基礎として、「体の不自由な方の生活支援ロボットの実現」と「ヒトの知覚運動制御の仕組みの解明」を目指しております。具体的には、高齢者用スマートカートと盲導犬ロボット(3名)、バイオリン演奏ロボット(3名)、メカトロシステムの制御技術(2名)の研究に取り組んでいます。

上村さんはプログラミングが得意というだけでなく、弦を押さえる4本指を作る際に、指の大きさと間隔のバイオリン演奏に適した寸法を提案してくれました。また、ヒトが何気なくやっている、弓の弾き方と音量・音程の関係について、制御工学の立場から研究を行っております。

本学大学院に進学後 も、この未知の課題に チャレンジして、最終的 に開発した技術が世の 中に役立つことを目指し て、大きく成長して欲し いと思っております。



卒業研修セミナー



本学への思いと卒業研修について

ラえむら たくや 上村 琢哉

私が入学したのは東日本大震災が起きた直後のことでした。そんな印象に残る大学生活のはじまりでしたが、4年過ごしてみるとあっという間でした。初めは授業も多くレポートなども大変でしたが、先生方のサポートや先輩方からアドバイスをいただき何とかやってきました。そんな安心できる大学だと思います。

卒業研修はバイオリンを演奏するロボットの研究です。うまく行かないこともありましたが、先生や卒業研修メンバーと一緒に考え問題を解決して一歩一歩前進することができました。解決できると達成感がありとても充実した日々を送っています。研究は大変時間

が掛かるもので完成とは ならず、私はもっとやりた いと思い大学院への進学 を決めました。引き続き研 究を続けて、身に付けた 技術で世の中に役立つ仕 事をしたいと思っていま す。



1対1のディスカッション

工学部

情報通信工学科

松田勝敬研究室



研究成果につながった震災の経験

まっだ まさひろ **松田 勝敬** 准教授

当研究室は、ネットワークに対応した電子機器の制御システムを開発し、インターネットのいろいろな使い方の実現を目標としています。ネットワークからハードウェアまでの幅広い分野が研究の対象になっています。

阿部さんは「皆が持つようになった、スマートフォンやタブレット端末を使った研究をやりたい。」と話していましたが、具体的な目標がないと勉強も研究も進まないものです。

阿部さんが卒業研究のテーマに選んだスマートフォンによる緊急地震速報の機能拡張は、皆が持つようになったスマートフォン

を災害時の避難に活用できないかということが元になっています。実際に東日本大震災を経験したことから、大災害時の被害を減らせないかという、切実な願いから取り組んだ分野です。



研究室での研究発表

1

貴重な財産となった研修生活

あべ しゅんや 阿部 峻弥

卒業研修では、スマートフォン向けの緊急地震速報受信アプリケーションの機能拡張を行いました。アプリケーションは詳細な地震の情報を使うことができ、震源の情報や予測深度、カウントダウン表示機能が搭載されています。私は地震情報を取得した際に地図を表示する機能や、位置情報をメールで自動送信する機能を実装しました。

プログラミングはもちろん、インターネットなどのネットワーク の知識も身に付けることができ、ネットワークの研究室である松 田勝敬研究室らしい研修を行うことができたと感じています。 泊

まりがけで研究した思い 出は自分にとって貴重な 財産となっています。

先生や先輩など、研究 室の仲間にとても感謝し ています。



スマートフォン対応アプリケーションの検証



BIMの活用について学び、 社会に貢献できる人材に

きょ らい 許 雷 准教授

当研究室では、BIM (建築情報モデル: Building Information Modeling) 技術の可能性を追究しながら、避難安全の「見える化」、エネルギー消費構造の調査、自然エネルギーの利用などに関する研究を行っています。

平成26年度の卒業論文あるいは卒業設計は、いくつかテーマを設け、学生自身に選択してもらいました。学生たちは環境を考慮した建物の設計に取り組むことを選択し、1年余りの時間をかけて4年間の学びの集大成を行いました。鳥谷部さんは今後、大学院に進学する予定ですが、BIMの新しい活用について学び、東

北工業大学建築学科の 強みを社会に示す存在 になってほしいと思って います。そして、安心・安 全な住空間を創出する ことで、社会に貢献でき る人材になることを願っ ています。



研修指導



卒業設計で学んだ自分の力

とりゃべ こうめい **鳥谷部 孔明**

私は環境系の許雷研究室に所属し卒業研修では卒業設計を 選択しました。私の地元 (青森県十和田市) を敷地に選択し、アートによって活性化を図っている地域に必要な施設を計画し、光環 境の分野を取り入れながら意匠設計を行いました。研究室に所属 してから光の入り方や効果、影のでき方などを研究していました が、それらを取り入れようとすると、なかなか難しく普段の授業の 設計よりも多くの時間がかかりました。そのような自分だけでは 答えが出ない時には、許雷先生をはじめさまざまな方からアドバ イスをいただきながら解決していきました。

平成27年4月からは大学院に進学するため、光環境だけでなく、熱やエネルギーの面においてもより深く研究し展開できるようになりたいと思います。



卒業設計作品

工学部

都市マネジメント学科

中山正与研究室



「自主性」と「工夫」で 環境に関する研究を行っています

中山 正与 教授

平成26年度は「森林域を流れる渓流水の水質調査」、「津波 堆積物の調査」、「一般廃棄物最終処分場の調査」という3つの テーマを設定し、学生それぞれが興味のあるものを選択し、調査 や実験を実施しました。どのテーマも簡単に結果が出せるもので はありませんので、まず諦めないこと。そして自主性をもって工 夫しながら課題解決に努めることを私は学生たちに期待しまし た。

このことは社会人になってからも仕事に対する姿勢に活かされるものだからです。また、平成26年度から「卒業研修発表会」を

本学科の4年生が聴講する義務を課しました。 発表の仕方にも工夫が必要になりますが、より分かりやすく伝えるために努力することも、良い経験になるでしょう。



埋立地の測量

現地調査から学んだ研修

おのでら りょうた 小野寺 諒太

私たちが快適で健康的な日常生活を過ごす中で、毎日たくさん の廃棄物が発生しています。

私は中山正与研究室で廃棄物最終処分場の調査と研究を行ってきました。卒業研修では、平成23年に起きた東日本大震災によって発生した震災廃棄物が埋め立てられることによって、最終処分場にどのような影響を与えたかの把握を行いました。また、調査のため実際に現地へ赴くことで、研究の持つ意義や、取り組む姿勢を再認識することができ、自身の成長を感じることができました。

春からは社会人として 新しい生活がはじまります。大学生活の中では多 くのことを体験し、学びま した。その経験を忘れず に、社会人としての第一 歩をしつかりと踏み出せ るよう努めていきます。



研究室での打ち合わせ

工学部

環境エネルギー学科

加藤善大研究室



水素製造用電極の実用化を目指す

加藤 善大 准教授

近年、燃料電池など水素を利用した発電システムが普及しつつ あり、水素を大量に利用する時代が到来しつつあります。これに は、太陽光、風力および水力などの再生可能エネルギーからの電 気を利用した水の電気分解で水素製造するのがもつとも効率的な 方法です。当研究室では、水素製造のための海水もしくはアルカ リ水電解用の電極の創製を行っています。佐々木さんは日立造船 (株) との共同研究として、アルカリ水電解による水素製造のため の電極の創製に取り組んできました。休日返上で研究を続けてき た努力が実を結び、世界で最も高活性なNi-Fe-Co-C合金電極の

創製に成功しています。修了 後は、共同研究を行ってきた 日立造船(株)への就職が内 定しており、これまでと同じ水 素製造用電極の創製に携わっ ていくことになっています。こ の電極を利用した水素製造シ ステムの実用化を目指してほ しいと思います。



X線光電子分光装置で測定中

ここでしかできないこと

佐々木 祐介

本学へは、現在の研究の軸となる「グローバル二酸化炭素リサイ クルシステム」に惹かれて入学し、学部3年生から現在まで望んでい た研究に携わることができました。

私のテーマは、システムの鍵となる水素製造用電極の創製であ り、企業と共同で研究を進め、最終的には世界最高性能の電極を創 製することができました。また、この技術が産業に反映されるとのこ とで、感無量です。

この経験は、本学でしかできなかったことであり、研究や学会発 表などを通して大きく成長できたと感じています。春からは共同研

究先へ就職し、現在の研 究を続けることとなるた め、大学院で培った知識 を最大限に活かし、世界 へ誇れる技術となるよう に努力を続けます。



世界最高活性の水素製造用電極を前にして

ライフデザイン学部

クリエイティブデザイン学科

鹿野護研究室



社会の中で実用性の高い 新しくてユニークな視点

鹿野

最新のテクノロジーと、人間の本質を見つめる多角的な視点。 それを駆使した映像やスマートフォンのアプリ、プロジェクション マッピングやコンピュータグラフィックスなどの制作を通し、幅 広いフィールドで活躍できる人材を育成しています。

小嶋さんは、自主的に学ぶという意識が非常に高く、現在彼が 取り組んでいる研究は、端的に言えばツイッターでつぶやかれて いる情報を検索し、まとめて解析するというものです。

今まで見えていなかったニーズや新しい発見がある、とても実 用性の高いものです。しかも彼は、ウェブのテクノロジーを使って

科学的なアプローチを 行い、実際に言葉を採り 出しています。統計学的 な視点としても、データ マイニング的な方向性を 有する研究としてもとて もおもしろく、大学の枠 を超えた、注目すべき研 究となるでしょう。



常に最新のデバイスの可能性に挑戦

本気で努力すること

小嶋 景人

私は「ソーシャルメディア解析サービスのデザイン」というテー マで、ツイッターから投稿される多種多様な文章をデータビジュ アライゼーションという手法を用いて表現しました。このサービ スから思いもよらない発見や気づきが見つかることを目的として います。

この制作にはさまざまな難しい技術が使用されていて、とても 一人では作ることはできませんでした。そんな中、鹿野先生が関 係している勉強会やセミナーに参加させてもらったことで、大学 の中だけでは得ることのできなかった知識を得ることができまし

た。こういったサポート が無ければ私は作品を 作り上げることはできな かったと思います。

そしてこの一年間で、 本気で努力を重ねれば 助けてくれる人がいて、 結果的に報われるという ことを学びました。



自主的に高度なプログラミングを習得しました



モノづくりで 社会貢献のできる人材に

なかじま さとし **中島 敏** 教授

運動工学(人の筋肉の構造やサイズや仕組み)やパリアフリー&ユニバーサルデザインなどの基礎研究を活かした、さまざまな生活応用のデザイン研究開発を行っています。

私はプラスチック製日用品のデザインに20年以上携わってきたことから、「日常品非日常」をテーマにしており、災害用品についても日常品でありながら災害時にも使える「スマートデザイン」を目指しています。

村上さんは卒業研修で、津波災害用ライフジャケット、老人向 けリラクゼーション用マット (ウェットスーツ素材を使用した足裏

マッサージ機)、非常時用ライトの研究を行いました。

村上さんにはモノづく りを通じて世の中を明 るく元気にする、社会に 貢献できる人材となって ほしいと思います。



健康器具についての指導



ものづくりを通して学んだこと

tishra よしき **村上 至樹**

私が本学に入学したのは平成23年4月、東日本大震災の年でした。スタートに不安が残りましたが、友人や本学の環境に恵まれ充実して過ごすことができました。

卒業製作ではそんな背景もありながら、津波対策用ライフジャケットの製作に取り組み、多くの壁にぶつかりましたが、中島先生をはじめ多くの方に協力していただき、「イメージ」を「もの」にして可視化することができました。製作を通して特に印象に残っているのは、「頭の中でどれだけ考えても、実際には上手くいかない。ものづくりは、三現主義」という言葉です。(三現主義:現場、現品、現状)

今は研究室にプロトタイプしかありませんが、皆さんの手元に届くように、商品化を目指し卒業後も携わっていきたいと思います。



津波災害用ライフジャケット試用による浮力実験

ライフデザイン学部

経営コミュニケーション学科

金井辰郎研究室



社会全体を幸福にするための 経済学

金井 辰郎 教授

当研究室は日本経済論をテーマに研究しています。日本がなぜ 経済大国となることができたのか、その理由を考える中で低迷し ている日本経済復活のカギを探ることを目標にしています。

髙橋さんが卒業論文のテーマに選んだリーダーシップ論は、つまり指導者論でもあります。高校時代に野球をやってきた経験もあり、理想のリーダーシップ、理想の指導者像についての研究を深めることができたのではないでしょうか。

バイタリティがあり、どんなことにも一生懸命に取り組む髙橋 さんは、公務員試験と企業の就職活動を並行して行い、最終段階

までやり遂げました。こ れからも自分らしく頑 張ってほしいと思いま す。



4年ゼミ生。みなまじめにやっています

卒業研修を通して

たかはし さとし **髙橋 智史**

私が研究室での活動を通して感じたことは、先生と学生との距離が近く、意見交換を行いやすい環境にあったことにより、論文を作成するうえで広い視点で思考することができたと思います。

私の論文のテーマはリーダーシップ論についてでした。このテーマを選定するまでが論文を書くうえで最初にぶつかった壁です。まだ誰も言っていないこと、新規性を見つけ出すことに苦労しました。そのために、多くの文献を集め、読むことにより知識を深めながら自分が新たに意見を述べられることを見つけていきました。

卒業後はリーダーシップについて学んだことを 生かすことのできるよう な人材になりたいと思い ます。



議論はかなり熱くなるときもありました

東北工業大学には、八木山・長町の2か所にキャンパスがあります。 いずれのキャンパスにも、緑豊かな敷地の中に、学生の皆さ んが快適なキャンパスライフをサポートする各種施設があります。このページでは、キャンパスを4名の在学生が紹介します。

1号館



tohtech LOUNGE





ウェルネスセンター保健室

新入生の皆さんも、 おおいに利用しましょうの ここで"紹介した以外にも、 楽しめる場所もたくさん ありますので、私たち学生に 聞いてください。

かまた 鎌田



友だちと語り合う場所や キャンパスライフを サポートしてくれる 施設を紹介します。

悠希さん 環境エネルギー学科



4号館(体育館) 学生食堂 循環技術研究施設 クラブ棟 2号館 5号館 大学生協 7号館

東門

4号館



10号館



tohtech FORUM

附属図書館 本館



6号館

1号館前中庭





女子学生ラウンジ



manabi なんでも相談室



学生ホール





生協売店



附属図書館 分館



学生ラウンジ



長町キャンパス事務室



ウェルネスセンターカウンセリングルーム

平成26年度課外活動優秀者表彰

平成26年度の課外活動において目覚ましい活躍をし、優秀な成績を 挙げた団体と学生個人の栄誉を讃える表彰式が、2月10日(火)八木 山キャンパスで行われました。

表彰式では、宮城光信学長より表彰状の授与ならびに記念品が贈呈 され、その後の懇親会では学長はじめ諸先生と懇談を行いました。

表彰された団体・学生のさらなる活躍が期待されます。

(学年は受賞時)



[団体]

クラブ名	大会名または活動内容	成績など
準硬式野球部	東北地区大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦	2部1位
ハンドボール部	平成26年度東北学生秋季リーグ	3部1位
電子技術研究会	6m AND Down コンテスト	電話部門 マルチオペオールバンド東北1位
ボランティア部	市内小学校防犯教室、地域防災サポートチーム結成式、児童館クリスマス会、冬の学習 寺子屋、秋保野尻雪んこまつり、ポラリス宮城活動報告会、みやぎマモルンジャー活動報告会春季火災予防週間広報、療育キャンプ、南小泉中学校パネルディスカッション、盲導 犬募金活動、仙台サークルネットワーク事業説明会(つながりんぐ)、つながりんぐ代表者会、防災連絡会・八木山合同情報交換会、みやぎマモルンジャー登録会、八木山東町内会防災訓練、早寝早起き朝ごはん実行委員会in宮城、琉球國祭り太鼓、ポラリス宮城結団式、雄勝うにまつりの手伝い、つながりんぐ交流会、ポラリス宮城オリエンテーション、未成年者喫煙防止街頭活動、夏の学習寺子屋、アルカス活動打ち合わせ会議、広瀬川灯篭流しの手伝い、児童館に泊まって遊ぼう、夏の療育キャンプ、2014セキュリティフェア運営ボランティア、ポラリス宮城 企画会議、つながりんぐ FMたいはく収録、東四郎丸児童館 かにつこ村祭り、若林区民祭りのサポート、PTAフェスティバル、大学サークルネットワーク事業つながりんぐ交流会 他	
環境サークルたんぽぽ	カーボン・オフセット	奨励賞
知能エレクトロニクス学科有志	第5回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト国内予選 第5回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト世界大会	4位 Best Contribution Award受賞

[個人]

氏名(学科・学年)	大会名または活動内容	成績など
伊藤 寛伸(安全安心生活デザイン学科4年)	仙台六大学野球秋季リーグ戦	ベストナイン 指名打者
奥田 聖人(クリエイティブデザイン学科2年)	- 第47回少林寺拳法東北学生大会 茶帯の部	3位
佐々木 一成(都市マネジメント学科2年)		
阿部 伸(建築学科2年)	第51回仙台市民総合体育大会	1 位
遠藤 晶大(知能エレクトロニクス学科2年)	少林寺拳法演武大会大学男子級の部	
越後谷 卓史(建築学科2年)	第00日中は日フプロン・レラン・ドロー・フェファン・バル	一般 男子50m自由形1位
平野 功樹(都市マネジメント学科4年)	- 第22回宮城県スプリントアンドリレーフェスティバル -	一般 男子50m背泳ぎ1位
渡部 秋平(環境エネルギー学科3年)	第22回宮城県スプリントアンドリレーフェスティバル	一般 男子50m平泳ぎ1位 他
	第52回宮城水泳競技大会	
宍戸 健哉 (知能エレクトロニクス学科2年)		男子200m自由形1位 他
横川 智志(知能エレクトロニクス学科3年)	第52回宮城水泳競技大会	男子25mバタフライ1位
富樫 多朗(情報通信工学科1年)		男子25m自由形1位
青木 潤(建築学科3年)	平成26年度東北学生秋季リーグ	3部 得点王
小関 祐哉(知能エレクトロニクス学科4年)	東北映像機器フェスティバル2014・ 東北映像フェア2014	優秀賞
佐藤 未和 (建築学科3年)	第18回JIA東北建築学生賞	奨励賞 河北賞
斉藤 寛之(情報通信工学科2年)	TOEIC-IP テスト	760点







団体の部

ハンドボール部



さらなる飛躍の年に

ぁぉき じゅん **青木 潤** 建築学科 3年

この度、ハンドボール部が課外活動優秀者に選ば れ、とても光栄に思っております。

平成26年度は数多くの大会に出場して経験を積み、 また他大学、高校、OBとの練習試合も多く行い、技術 カアップを図りました。

日頃の練習の成果が実り、3部リーグで優勝するこ とができました。

関係者の方に感謝するとともに、平成27年度は、さ らに技術力アップを目指し部員一同頑張っていきたい と思います。



水泳部

個人の部



平野 功樹 都市マネジメント学科 4年

今回このような賞をいただけたこと大変光栄に思い ます。水泳を続けて14年になりますが、その中でも大学 で泳いできたこの4年間は自分を大きく成長させてくれ た時間でした。

3年前に2名の後輩とともに再始動した水泳部です が、後輩の支えなしでは、ここまで活動を続けることが できませんでした。

練習だけではなく、各種大会および全国大会への出 場や大学祭参加など、ともに多くの経験をした水泳部の メンバーには大変感謝しています。本当にありがとうご ざいました。



環境サークルたんぽぽ



成長と継続

和地 翔夢

環境エネルギー学科 3年

このような賞をいただき、メンバー―同非常に嬉しく 思っています。

選出していただき、ありがとうございます。

平成26年度は前年度の活動に加え、他大学との協 力によるカーボンオフセット活動を行い、環境省後援 の第4回カーボンオフセット大賞の奨励賞を受賞いた しました。

今後も継続性のある活動、新たにチャレンジする活 動などを経て環境意識の高い団体を目指していきたい と思います。

これからも応援よろしくお願いします。



建築学科

「第18回JIA東北建築学生賞」 奨励賞をいただいて

佐藤 未和 建築学科 3年

「第18回JIA東北建築学生賞」に出品したことにより、 他大学生がどのように作品を作っているのか、自身の不 足しているところはどこなのか、良いところはどこなのか 認識できる機会を得ました。

日頃、大学内で友だちや先輩の設計課題と自身の作 品を比べて、自身の将来が不安になったこともあり、広く 周りを見る機会を得たことにより、これからやらなけれ ばならないことを知ることで、自分に自信が持てるよう になりました。

受賞に対し、周りの環境に恵まれたことが大きな要因 の一つと感じています。皆さまありがとうございました。







◆国連防災世界会議・関連イベントの開催

仙台市における第3回国連防災世界大会の開催に伴い、本学はシンポジ ウムならびに「世界の防災展」におけるパネル展示を行いました。

本学は、平成27年3月17日(火)TKPガーデンシティー仙台勾当台にお いて「東日本大震災の教訓-東北工業大学における初期対応と復興支援 から一」と題してシンポジウムを開催し、本学での復興への取り組みなど の講演、ならびに「復興のジレンマと将来への展望」をテーマとしたパネル ディスカッションを行いました。80名の参加者の中、パネラーが感じた震 災復興におけるさまざまなジレンマが報告され、会場の参加者からの発言 もあり、活発に意見交換が行われました。

併せて、せんだいメディアテークで行われた「世界の防災展」では、パネ ル展示とモニターでの放映により、本学で行った復興支援活動について紹 介しました。また同期間に本学一番町口ビーにおいて「地域復興支援パネ ル展」を開催し、本学の復興支援活動について、仙台市内外により詳しい 紹介を行いました。



渡邉浩文工学部長 のシンポジウム開



ションでの活発な

◆COC事業報告会および事業パネル展の開催

文部科学省から平成26年度に採択された「地(知)の拠点整備事業 (COC事業)」事業報告会を平成27年3月12日(木)仙台ガーデンパレス において開催しました。本事業は「オールせんだいライフデザイン実践教 育共創事業」をテーマに、地域社会に求められる人材育成を目的に「教 育」、「研究」、「社会貢献」の活動を行うものです。

事業報告会では、本学 宮城光信学長の挨拶ではじまり、文部科学省 高 等教育局大学振興課大学改革推進室長 猪股志野様の挨拶を司会者が代 読、仙台市 市民局市民プロジェクト推進担当局局長 白川由利枝様より挨 拶をいただいた後、平成26年度の事業総括と教育事業、ならびに6つの研 究プロジェクトについて報告を行いました。

また、パネル展示による事業報告として、3月20日(金)~25日(水)、本学 一番町口ビーにおいて「COC事業成果パネル展」も開催しました。これまで の事業進捗状況を確認し、今後の改善へとつながる報告会となりました。





研究プロジェクト

◆復興大学ワンストップサービス事業 オーストラリアからインターンシップ学生の受け入れ

復興大学では平成26年度、海外からのインターンシップ受け入れを行い ました。RMIT (ロイヤルメルボルン工科大学) のクローイ・マクベインさん が、インターンとして平成27年1月13日(火)から2か月、復興大学の仕事を 体験しました。仕事の内容は、復興大学に携わっている教職員へのインタ ビュー取材と被災地の視察、ウェブサイト・パンフレット英訳による世界へ の情報発信、そして第3回国連防災世界会議(平成27年3月14日(土)~18 日(水)開催)の展示ブースでの来客対応など、盛りだくさんでした。

クローイさんは明るい性格で職場にすぐ溶け込み、短い期間ながらも、 大変熱心に仕事を行いました。3月20日(金)で無事インターンシップは終 了しましたが、「復興大学での経験を大事に持ち帰りたい」と言っておりま した。これから、社会に出て大きく活躍することを願っています。



良覺教授とともに)



第3回国連防災世 界会議 世界の防 復興大学展示ブー スでの事業説明

◆本学主催 合同企業説明会を開催

就職部

3月3日(火)・4日(水)の2日間にわたり、仙台市内の仙台国 際ホテルにおいて、学部3年生、修士1年生を対象とした本学独自 の合同企業説明会を開催しました。

この説明会には、過去約5年間に本学学生の採用の実績を持 つ企業・団体266社が参加しました。企業採用担当者の方からは 「東北工業大学の学生を採用したい」という意欲が感じられ、説 明を受ける側の学生も真剣に耳を傾けていました。

開催に先立って初日の午前には進路指導集会が行われまし た。宮城光信学長の挨拶、そして現4年生からの先輩応援メッ セージがあり、引き続き外部講師による「2015年就職戦線の現 状とこれから」と題した講演が行われました。

今年から企業の採用に向けた「広報活動」の解禁日が3か月後

ろ倒しされ3月1日 となり、戸惑ってい る学生もいるよう ですが、本学では今 後も全学的な就職 支援を展開してい きます。積極的に活 用してください。



企業担当者の説明に聞き入る学生

◆本学学生を対象とした「キャリトレ」開催報告

キャリアサポート課

本学学生を対象とし、平成26年度就職対策合宿研修「キャリ トレ」(キャリアトレーニング) を、2月3日(火)・4日(水) の2 日間、学部1年生から3年生の学生50名が参加し、秋保温泉「緑 水亭」で開催しました。本学学長室 阿部俊三特任教授の監修に より、瀬尾 誠氏(一般財団法人営業ひと研究所 代表理事)、番 場 裕氏(株式会社学情 東京本社 学校企画部 副部長)、森田健 一講師 (本学ウェルネスセンター カウンセラー) を講師として迎 え、講座を行いました。

「社会人基礎力とは」「作文の極意」など10の就職対策講座 では、グループワークや企業が求める人物像を学ぶもの、新聞記 事から学ぶ文章力養成に関する実技など、楽しみながら身に付 く実践的なプログラムを集中的に体験しました。



キャリトレ講座での学生参加者

◆SD (安全安心生活デザイン学科) ウィーク開催

伊藤 美由紀 安全安心生活デザイン学科 准教授

安全安心生活デザイン学科、通称SD学科の卒業研修展示会「SD ウィーク」を3月6日(金)~11日(水)、一番町ロビーで開催し、170名 の方にご来場いただきました。

1階ギャラリーでは、地域・住まい・心身と、多様な視点で生活デ ザインを探求した、当学科設置としての4回生による卒業研修の成 果をパネルや模型などで展示し、学生が説明を行いました。

4階ホールでは、3つの公開講座「雄勝いしのわプロジェクト」、 「八木山地域での防災防犯の取り組み」、「青葉区片平地区・まちな かテラス藤坂のまちづくり」を実施し、また、学生が卒業研修成果を 関係者に報告し、貴重なコメントをいただきました。

ご来場いただいた皆さまをはじめ、本学科の卒業研修にご協力い ただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。



パネル展示による卒業研修成果発表

◆全員参加の基礎化学実験

多田 美香 共通教育センター 准教授

環境エネルギー学科2年生の基礎化学実験は、教員、助手、大学 院生や4年生のTAが協力し、学生とのコミュニケーションを重視し た全員参加型の講義です。実験技術の習得はもちろん、化学変化 を観察しながら洞察力や集中力を培い、個人実験では自主性を、グ ループ実験では協調性を意識して各自の判断で行動する力を引き出 します。実験結果をノートにまとめ、レポートを作成することは、学 力の定着に繋がります。スタッフのチームワークに共感してくれる学 生は自ら廃液処理に協力してくれます。卒業研修の準備には欠かせ ないエッセンスばかりです。何より、化学の面白さを体感できる講義 のひとつです。



硫酸銅五水和物の製造(担当教員:葛西重信教授、内田美穂准教授)

平成26年度学位記授与式

平成26年度学位記授与式が、八木山キャンパス講堂(体育館)において3月20日(金)に挙行されました。ご父母、教職員、ご来賓列席のもと学部生615名、大学院博士(前期)課程16名、大学院博士(後期)課程1名の代表に、宮城光信学長より学位記が授与されました。

学部生代表の知能エレクトロニクス学科冨樫玖苑さんと修 了生代表の環境情報工学専攻佐々木祐介さんが、今後の決意

と教職員、友人、家族への感謝 を込めた、答辞を述べました。

卒業生・修了生の皆さまの これからのご活躍を祈念いた します。



平成26年度 学位記授与者数

学部 合計615名

工学部 合計437名

■知能エレクトロニクス学科 …109名
■情報通信工学科108名
■建築学科100名
■ 却市フなジメンル学科・建設シフテル工学科・・・52 夕

■環境情報工学科 ………68名

ライフデザイン学部 合計178名

■クリエイティブデザイン学科 …69名
■安全安心生活デザイン学科 …58名

■経営コミュニケーション学科 …51名

大学院 合計17名

丁学研究科 博士(前期)課程 合計14名

エテめいい 母工(いか)/mvir 口口	ŤЦ
■電子工学専攻	2名
■通信工学専攻	4名
■建築学専攻	3名
■土木工学専攻	1名
■環境情報工学専攻	4名

ライフデザイン学研究科

	博士(前期)課程	合計2名
1	■デザイン工学専攻	2名
1	工学研究科 博士(後期)課程	合計1名
1	■通信工学専攻	1名

topics

環境サークル「たんぽぽ」(ISO学生サポーター) メンバー募集中!

たかはし みく 代表 **髙橋 未来** 環境エネルギー学科

「たんぽぽ」は平成24年に誕生し、現在50名で活動しています。主に大学周辺のゴミ拾いや、ペットボトルキャッ



プの分別、教室の消灯活動などを行っています。また、学内だけではなく、他大学の環境団体や企業などと連携するなど、学内外の環境保全活動にも積極的に取り組んでいます。八木山・長町両キャンパスでの活動を活性化させるためにも、学科学年を問わず随時メンバーを募集しています。興味のある方はぜひお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

- ■八木山キャンパス
 - 1号館4階 企画調査課(ISO推進事務局)
 - 10号館3階 環境エネルギー学科事務室
- ■長町キャンパス 4号館1階 長町校舎事務室

ひとこと相談でお悩み解消!ピア・サポーター

ピア・サポーターは、心理学やカウンセリング技法を 学びながら、さまざまな形で学生同士の相互扶助を行っています。現在は、主に、学生の悩みに学生目線で回答する「ひとこと相談」に力を入れています。八木山では月・水曜日の昼休みにピアルーム(5号館1階生協売店 隣りmanabi内)、長町では水曜日の昼休みに4号館1階

トポステンポにて、例会を開催しています。活動に興味のある方は、各キャンパスのカウンセリングルームまでお問い合わせください。見学もお待ちしています。



ひとこと相談掲示板(長町キャンパス)

column

もりた けんいち

森田 健一 ウェルネスセンター カウンセラー 講師



日々是出発日(今が常にスタート地点)

新年度がはじまり、新たな日々に期待と緊張が混じりつつ、「今年こそ!」という思いの方も多いと思います。学生からよく聞かれる質問に「熱しやすく冷めやすいのだがどうしたらいいか」というものがあります。私は「それは記憶力の問題だ」と答えることがあります。よほど強い意志の人でない限り、当初の気持ちは日々の忙しさのなかで忘れ去られてしまうのです。ですので、ノートに日々の気持ちを書き記すことを薦めています(昨年秋号のコラムでも触れた「自己研究ノート」です)。そこには、今流行りのTwitterのように、思いを何でも書き記していきます。そうすることで時折振り返りながら、当初の気持ちと緩んできた気持ちを比較し、新たに「今できる」具体的な計画を立てることができます。初期の計画に不必要に縛られず(=ダメだったと嘆くのではなく)、「今」こそこれから残りの人生のスタート地点だ、という気持ちで新たに目標を立てましょう。

心の器はそう大きなものではありません。ノートという一時メモリーを借りることで、多忙な日々で混乱しがちな心の情報網を整理するのです。私はA5サイズの小さなノートを持ち歩き、いろんなことを記録しています。食事や運動、気分などの日記的内容のみならず、テレビや雑誌などで仕入れた情報や日々の小ネタ、そして「今」の目標などさまざまです。それはもはや「私のこころ」の一部とも言えるかもしれません。

前期の主な行事予定(平成27年度)

4 月 | • 3日(金) **入学式** • 6日(月)~9日(木)

前期オリエンテーション・健康診断

- 10日(金)~ 7月30日(木) 前期授業
- **6** 月 27日(土) オープンキャンパス
- 7 月 4日(土)·11日(土)·18日(土) 前期補講日
 - 24日(金) 定期試験時間割発表
 - 31日(金)~8月5日(水)

前期定期試験期間

25日(土)・26日(日)オープンキャンパス

- 8月 6日(木)~9月9日(水)
- 夏季休業
- 9 月 1日(火) 前期試験成績発表 追再試験時間割発表
 - 2日(水)·3日(木) 前期補習
 - 4日(金)~9日(水)
 - **前期追再試験** ● 10日(木)

後期オリエンテーション